

# 安全データシート

作成:2009年 9月 30日

改訂:2022年 7月 5日

## 1. 製品及び会社情報

整理番号	:KF089-04
製品名	:ペフトップジンフロアブル
会社名	:クミアイ化学工業株式会社
住所	:東京都台東区池之端 1-4-26
担当部門	:サステナビリティ推進部 レスポンシブル・ケア推進課
電話番号	:03-3822-5180
FAX番号	:03-3823-6830
緊急連絡先	:同上
推奨用途及び使用上の制限	:農薬

## 2. 危険有害性の分類

最重要危険物有害性及び影響

GHS分類

健康に対する有害性	急性毒性(経口)	:区分4
	急性毒性(吸入:粉じん、ミスト)	:区分2
	皮膚腐食性/刺激性	:区分2
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	:区分2A
	生殖細胞変異原性	:区分2
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	:区分2(血液、呼吸器)
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期(急性)	:区分1
	水生環境有害性 長期(慢性)	:区分1

上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

- ・飲み込むと有害
- ・皮膚刺激
- ・強い眼刺激
- ・吸入すると生命に危険
- ・遺伝性疾患のおそれの疑い
- ・臓器の障害のおそれ(血液、呼吸器系)
- ・水生生物に非常に強い毒性
- ・長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き

【安全対策】

- ・使用前に取扱い説明書を入手すること。
- ・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・取り扱い後は、手および顔をよく洗うこと。
- ・ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- ・屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。
- ・[換気が不十分な場合]呼吸用保護具を着用すること。
- ・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- ・環境への放出を避けること。

【応急処置】

- ・飲み込んだ場合: 気分が悪いときは医師に連絡すること。口をすすぐこと。
- ・皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。
- ・汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
- ・皮膚刺激が生じた場合、医師の診察/手当てを受けること。
- ・吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・直ちに医師に連絡すること。
- ・眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。
- ・ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。
- ・ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。
- ・漏出物を回収すること。

【保管】

- ・換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
- ・施錠して保管すること。

【廃棄】

- ・内容物、容器を国、都道府県、又は市町村の規則に従って安全に処理する。または、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

化学名：1, 1'-イミノオジ(オクタメチレン)ジグアニジニウム=トリアセタート / 一般名 イミノクタジン酢酸塩

ジメチル[1, 2-フェニレンビス(イミノカルボノチオイル)]ビス[カーバメート] / 一般名 チオファネートメチル

成分及び含有量：イミノクタジン酢酸塩	15.7%
チオファネートメチル	26.2%
<その他> 酢酸	1.8%
界面活性剤・水等	56.3%

化学式：C<sub>12</sub>H<sub>14</sub>N<sub>4</sub>O<sub>4</sub>S<sub>2</sub> / チオファネートメチル

C<sub>24</sub>H<sub>53</sub>N<sub>7</sub>O<sub>6</sub> / イミノクタジン酢酸塩

CH<sub>3</sub>COOH / 酢酸

官報公示整理番号：化審法 (2)-1781	イミノクタジン酢酸塩
(2)-688	酢酸
安衛法 4-(13)-80	チオファネートメチル

CAS No.:	57520-17-9	/	イミノクタジン酢酸塩
	23564-05-8	/	チオファネートメチル
	64-19-7	/	酢酸

4. 応急措置

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを装着していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合：医師の診察 / 手当てを受けること。  
 皮膚に付着した場合：汚染された衣類、靴等を速やかに脱ぐ、大量の水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合：医師の診察 / 手当てを受けること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗

濯をすること。

吸入した場合：被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪い時は、医師に連絡する。

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。医師の診察／手当てを受けること。無理に吐かせてはいけない。

## 5. 火災時の措置

適切な消火剤：霧状の水、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス消火剤

使ってはならない消火剤：特になし

特有の危険有害性：加熱により毒性・有害性ガスを発生する。

特有の消火方法：火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。消火作業は風上から行う。

周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所に移す。移動できない場合、容器に放水し、冷却する。

消火を行う者の特別な保護具及び予防措置：燃焼により毒性・有害性ガスを発生するので、自給式呼吸器を含む消火保護具を着用のこと。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：人を退避させ、飛散・漏出した周辺にロープを張り、「立入禁止」の措置を行う。作業の際は、保護具を着用する。保護具については「8. ばく露防止及び保護措置」を参照の事。風上から近づく。眼、皮膚、衣類につけないこと。ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。十分な換気を確保する。

環境に対する注意事項：排水溝または水路への侵入を防ぐ。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：ウエス、スコップ等でできるだけ空容器に回収する。必要なら砂等をまいてできるだけ回収する。大量の場合は盛土で囲うなどして流出を防止した上で回収する。漏出物が河川・用水路に流れないように注意する。

## 7. 取り扱い及び保管上の注意

### 取扱い

技術的対策：「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

安全取扱注意事項：作業の際は、保護具を着用する。保護具については「8. ばく露防止及び保護措置」を参照の事。取扱い後はよく手、顔を洗うこと。皮膚、目、あるいは衣服との接触を避ける。作業所の十分な換気を確保する。ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。使用前に取扱説明書を入手すること。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。この製品を使用するときに飲食又は喫煙をしないこと。

接触回避：「10. 安全性及び反応性」を参照

### 保管

安全な保管条件：直射日光を避け、換気の良い、乾燥した冷暗所に保管すること。密閉容器に保

管すること。酸化性物質や有機過酸化物など同一の場所で保管しない。施錠して保管すること。

安全な容器包装材料: 情報なし。

## 8. ばく露防止措置

許容濃度: イミノクタジン酢酸塩 第3種粉塵: 吸入性粉塵 2 mg/m<sup>3</sup> 総粉塵 8 mg/m<sup>3</sup> 日本産業衛生学会(2020年度)

チオファネートメチル 第3種粉塵: 吸入性粉塵 2 mg/m<sup>3</sup> 総粉塵 8 mg/m<sup>3</sup> 日本産業衛生学会(2020年度)

酢酸 10 ppm 日本産業衛生学会(2020年度)

酢酸 10 ppm TWA 15 ppm STEL ACGIH(2021年度)

設備対策: 屋内使用の場合、装置を密閉化し、局所排気装置又は全体排気装置を設置する。取扱い場所の近くに、シャワー・洗眼器を設置する。

### 保護具

呼吸用保護具: 防塵マスク

保護手袋: ゴム・塩ビ等の不浸透性手袋

保護眼鏡: ゴーグル

保護衣: 保護帽子、保護服、保護長靴等

## 9. 物理・化学的性質

外観等	: 類白色粘稠懸濁液体
臭い	: 酢酸臭
pH	: 4 - 6 (20%水溶液)
融点・凝固点	: データなし
沸点・初留点及び沸騰範囲	: 100°C
引火点	: 引火点なし
自然発火点	: 自然発火点なし
分解温度	: データなし
燃焼性	: データなし
爆発限界 (v <sub>o</sub> 1%)	: データなし
爆発限界 下限 (LEL)	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び/又は相対密度	: 1.05 - 1.25 (20/4°C)
溶解度	: 水: 混合物のため該当しない
n-オクタノール/水分配係数 (log 値)	: データなし
分解温度	: データなし

粘性率	: 300 - 800 mPa.s (20°C)
動粘性率	: 262 - 700 mm <sup>2</sup> /s (20°C)
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: 粒径分布: ≤5μm (d50)

#### 10. 安定性及び反応性

反応性	: 情報なし。
化学的安定性	: 通常の取扱い条件下では安定である。
危険有害反応可能性	: 情報なし。
避けるべき条件	: 直射日光。熱。高温。
混触危険物質	: 酸化性物質。有機過酸化物と一緒に保管しない。
危険有害な分解生成物	: 燃焼によって次のものを生成する: 一酸化炭素。二酸化炭素。窒素酸化物 (NO <sub>x</sub> ) および硫黄酸化物。

#### 11. 有害性情報

急性毒性(経口)	: 飲み込むと有害 下記のデータから区分4とした。 LD <sub>50</sub> ラット (♀) > 300 ≤ 2,000 mg/kg
急性毒性(経皮)	: 区分に該当しない LD <sub>50</sub> ラット(♂ ♀) > 2,000 mg/kg
急性毒性(吸入)	: 区分に該当しない(分類対象外)(気体) 区分に該当しない(分類対象外)(蒸気) 吸入すると生命に危険
急性毒性(吸入:ミスト)	: 下記のデータから区分2とした。 LC <sub>50</sub> ラット 0.028 mg/l (4時間) (純度 40%(ベフラン原体 40)のデータ) イミノクタジン酢酸塩による値 LC <sub>50</sub> ラット(粉じん/ミスト) (♂) 1.7 mg/l (4時間) (♀) 1.9 mg/l (4時間) チオファネートメチルによる値
皮膚腐食性/刺激性	: ウサギ 皮膚刺激 試験データのスコア値から区分2とした。 pH 4 - 6 (20%水溶液)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: ウサギ 強い眼刺激 試験データのスコア値から区分2Aとした。 pH 4 - 6 (20%水溶液)

呼吸器感作性 :分類できない  
 皮膚感作性 :区分に該当しない  
 皮膚感作性なし

生殖細胞変異原性: 遺伝性疾患のおそれの疑い

区分2のチオファネートメチルを 1.0%以上含有するため区分2とした。

イミノクタジン酢酸塩: 生殖細胞変異原性: Ames 試験: 陰性、染色体異常試験: 陽性、小核試験: 陰性(マウス)

チオファネートメチル: 生殖細胞変異原性: Ames 試験: 陰性、染色体異常試験: 陰性、小核試験: 陽性、UDS 試験: 陰性、Res-Assay 試験: 陰性、その他の変異原生試験: 陰性 左記データより区分2とした。

発がん性: 分類できない

チオファネートメチル: 陰性(ラット)、陰性(マウス)

生殖毒性: 分類できない

チオファネートメチル: 生殖毒性: 催奇形成試験: 陰性(ラット)、陰性(ウサギ)

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 臓器の障害のおそれ(血液, 呼吸器系)

区分1(血液, 呼吸器系)である氷酢酸を 1.0 以上 10%以下含有するので区分2(血液, 呼吸器系)とした。

特定標的臓器毒性(反復ばく露): 分類できない

誤えん有害性: 分類できない

動粘性率: 262 - 700 mm<sup>2</sup>/s(20°C)

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性

総括的な環境影響情報: 水生生物に非常に強い毒性があるので、製品や廃液が河川等へ流出しないように注意する。

水生環境有害性 短期(急性): 水生生物に非常に強い毒性

下記データより区分1とした

水生環境有害性 長期(慢性): 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

区分1のチオファネートメチルを 25%以上含有するため区分1とした。

魚 : コイ LC<sub>50</sub> 135 mg/l (96 hr)

甲殻類 : EC<sub>50</sub> 1.68 mg/l (48 hr)

藻類 : ErC<sub>50</sub> 0.15 mg/l (72 hr)

残留性・分解性 : データなし

生体蓄積性 : チオファネートメチル: n-オクタノール/水分配係数(LogPow) : 1.44

土壌中の移動性 : データなし

オゾン層への有害性 : 有害性: 分類できない

影響: モントリオール議定書に指定された物質を含有しない。  
 その他 : 水産動植物に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。

### 13. 廃棄上の注意

使用量に合わせて薬液を調製し、使い切る。容器の洗浄水等は河川に流さない。  
 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。洗浄水等は、凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

### 14. 輸送上の注意

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。車輦、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。

国連分類 : クラス6(毒物類)容器等級Ⅱ

国連番号 : 2902

その他の殺虫殺菌剤類(液体)(毒性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)

#### 国内規制

海上規制情報 : 船舶安全法の規定に従う。

航空規制情報 : 航空法の規定に従う。

陸上規制情報 : 毒物及び劇物取締法、道路法の規定に従う。

### 15. 適用法令

農薬取締法 : 登録番号 第21863号

消防法 : 非該当

労働安全衛生法 : 第18条の2(通知対象物質): 酢酸(政令番号176)

第18条(表示対象物質): 酢酸

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

: 第一種指定物質 229号 チオファネートメチル  
 (2023年4月1日以降)

第一種指定物質 589号 イミノクタジン酢酸塩

毒物劇物取締法 : 政令第2条第1項10号の3 劇物 1, 'ーイミノジ(オクタメチレン)ジ  
 グアニジン、その潮類及びこれらのいずれかを含有する製剤

### 16. その他



記載内容は、現時点で入手できた資料・情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関して、いかなる保証をなすものではありません。注意事項については通常の取り扱いを対象としたものであり、特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を講じて下さい。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意してください。  
使用に当たっては、ラベルの注意事項を良く読んで下さい。

- 引用文献: 1) JIS Z 7252:2019 GHSに基づく化学品の分類方法  
2) GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針  
2019年6月 社団法人 日本化学工業協会  
3) 農薬中毒の症状と治療法 第19版 2022年4月 農薬工業会  
4) GHS文書 改訂第6版(2015年)

#### 作成部署以外の連絡先

(財団法人)日本中毒情報センター

大阪(年中無休、24時間) 一般市民向け相談電話(無料) 072-727-2499

医療機関専用有料電話 072-726-9923

つくば(毎日9時~21時) 一般市民向け相談電話(無料) 029-852-9999

医療機関専用有料電話 029-851-9999

※ ただし、上記の何れも通話料は相談者の負担となります。

※ 弊社製品に関する問い合わせにつきましては、医療機関専用有料電話の利用料(1件 2,000円)は弊社が負担いたします。